

令和三年度 第五十一回 入学式 式辞

只今呼名を受けた百七十五名のみなさん。入学おめでとうございます。

本日ここに榛原中学校第五十一回 入学式を挙げるにあたり、管理者であります、牧之原市教育委員会より教育委員の池ヶ谷祐太様に御臨席いただき開催できること心から感謝申し上げます。「本日は誠にありがとうございます。」

さて、昨年一年は、新型コロナウイルス感染症のために小学校の最上級生として例年とおりの活動ができなかったことと思いますが、そんなピンチの中でも、しっかりと六年間の学びの成果を残して小学校を卒業し、中学校で頑張る意欲を持って榛原中学校に入学してくることを大変嬉しく思います。

新入生のみなさんはどんな気持ち今日を迎えましたか？昨年度の三月上旬に当時榛中の三年生がみなさんの学校へお邪魔して、「ころざしを語る会」を実施しました。当時中学校へ入学することに不安を感じていたみなさんに中学校の様子などをお話することを通して、その不安が無くなって、中学校へ行くことが楽しみになったとすべての小学校の校長先生から連絡いただきました。そんな夢や希望がいっぱいの中学校生活が今日からスタートしますみなさんのそうした思いが十分発揮できるように、二・三年生はもちろん先生方も一丸となって丁寧に対応していきます。

どうぞ安心して、中学校生活を思う存分頑張ってください。

では具体的にどんなことに頑張ってもらいたいのかについて三つお話しします。

まず一つ目は、中学校は何と言っても勉強するところだと言うことです。授業では自分の意見を持ち、友達の考えも参考にして、さらに自分の考えを深めていくことを積み重ねることや、わからないことをとことん追求することで確かな力を育むことができるはずです。ぜひ自ら学ぶことを通して、みなさんの未来を切り拓いていってください。

二つ目は、友達を大切にすることです。学校生活は多くの人と関わり

ながら生活していきます。多くの人がいれば、自分の考えや感じ方と違った捉え方をする人もいるはずですが、学校生活の中ではこうした様々な価値観を理解した上で、お互いを認め合い高め合って、共に成長していくことを願っています。中学校生活で得られた仲間は、これからみなさんの一生の宝物になるはずですが、いい友を作ってください。

最後に、自分を鍛えると言うことです。中学生期は、「体」が大きく成長すると同時に「心」も大人に近づいていきます。今まで中学校三年間で素晴らしい成長を遂げた先輩達に共通することは「鍛える」と言うことです。授業、部活動、学校行事など学校生活のあらゆる場面で目標を持ち、その目標を達成するためにひたむきにがんばることで、三年後には大きく成長した姿に変身しているはずですが、

保護者の皆様、本日はお子様のご入学誠にありがとうございます。手塩にかけて育てられたお子様が、立派に成長され本日を迎えられることを、心からお慶び申し上げます。

お子様の健やかな成長のためには、保護者のみなさんと学校が手を携えていくことが必要です。思春期にさしかかる中学生時代は心も体も大きく変わり、家庭でのかかわりも思春期特有で難しい時期を迎えます。小学校時代とは違ったかかわりが求められることも生まれてきます。困ったときにはどんなことでも結構ですのでお気軽にご相談ください。

本校の教育活動に対して御理解と御協力をいただきますと共に、お子様への愛情あるかかわりを引き続きお願い致します。

榛原中学校の教職員一同は、本日お預かりした一七五名のお子さんを達の健やかな成長のために、こころを込めてかかわらせていただくことをお願い申し上げます、式辞と致します。

令和三年四月八日

牧之原市立榛原中学校長 大石 友巳